

インフォシス アナリティクス ワークベンチ

データをより活用するため、セルフ・サービス・アナリティクスを強化 ビジネスに不可欠な要素

ビジネスに不可欠な要素

世界中、データ・レイクを構築する多くの企業は、データの価値を最大化するために奮闘しています。データ・レイクへのデータ優先アプローチは、複数の問題によりうまく機能していません。



ユーザビリティの問題: レイクに何があるのかわからない。データを理解するのに支援が必要



スキルの問題: データ・サイエンティストの雇用が困難。すべての問題にデータ・サイエンティストが必要なのではない



アクセスの問題: ほとんどのお客様が異種混在のデータ・ランドスケープを持っており、アナリティクス・ワークロードのために全面的にデータが必要



生産性の問題: データ・サイエンティストはほとんどの時間をデータの探索と作成に費やす。80-20 のピラミッドを反転させることが必要



テクノロジーの問題: データから価値を引き出し、セルフ・サービスを可能にするために必要なツールがない。Hadoop だけでは成果が得られない



パフォーマンスの問題: 従来の方法を用いた Hadoop スケールのデータに対して分析モデルを実行するのに時間がかかりすぎる。データに合わせて拡張/縮小可能な分析エンジンが必要

企業は、セルフ・サービスを可能にするためにアナリティクス・インフラストラクチャーの近代化を検討していますが、孤立したデータと異種混在のテクノロジー・ランドスケープの問題に直面しています。このため、永続的なデータ統合によるアナリティクスが実行不可能となり、機会を頻繁に損失しています。現在のアナリティクス・ライフサイクルでは、時間の 80% がデータの取得と作成に費やされ、実際にアナリティクスに費やされているのはわずか 20% です。

現在のアナリティクス製品ランドスケープは、ディスカバリ、ブレンディング、モデリングに特化した製品で構成されていますが、ディスカバリ、ブレンディング、モデリング、モデル管理、モデル消費の統合機能を提供するプラットフォームは市場には存在しません。そのため、アナリティクスのライフサイクル全体にエンド・ツー・エンドの機能を提供する統一されたメタデータ・フレームワークを活用するプラットフォームが必要です。

課題の解決

インフォシス・アナリティクス・ワークベンチは、セルフ・サービス・アナリティクスを強化するプラットフォームを提供することにより、現在の非効率なアナリティクス・ライフサイクルの原因となる問題を解決します。



ディスカバリ: すべてのエンタープライズ・データ・ストレージでの境界のないデータ・ディスカバリ



インサイト: 豊富なビジュアライゼーションと詳細なアナリティクスを用いたクイックなインサイト



取得: 容易なデータ取得、データ・プロファイリングによるパーソナル・ワークスペース、ドラッグ&ドロップ、自動データ・モデル機能



モデリング: モデルの作成・再利用・再定義・パラメータ化、および外部利用のための公開とワークフロー

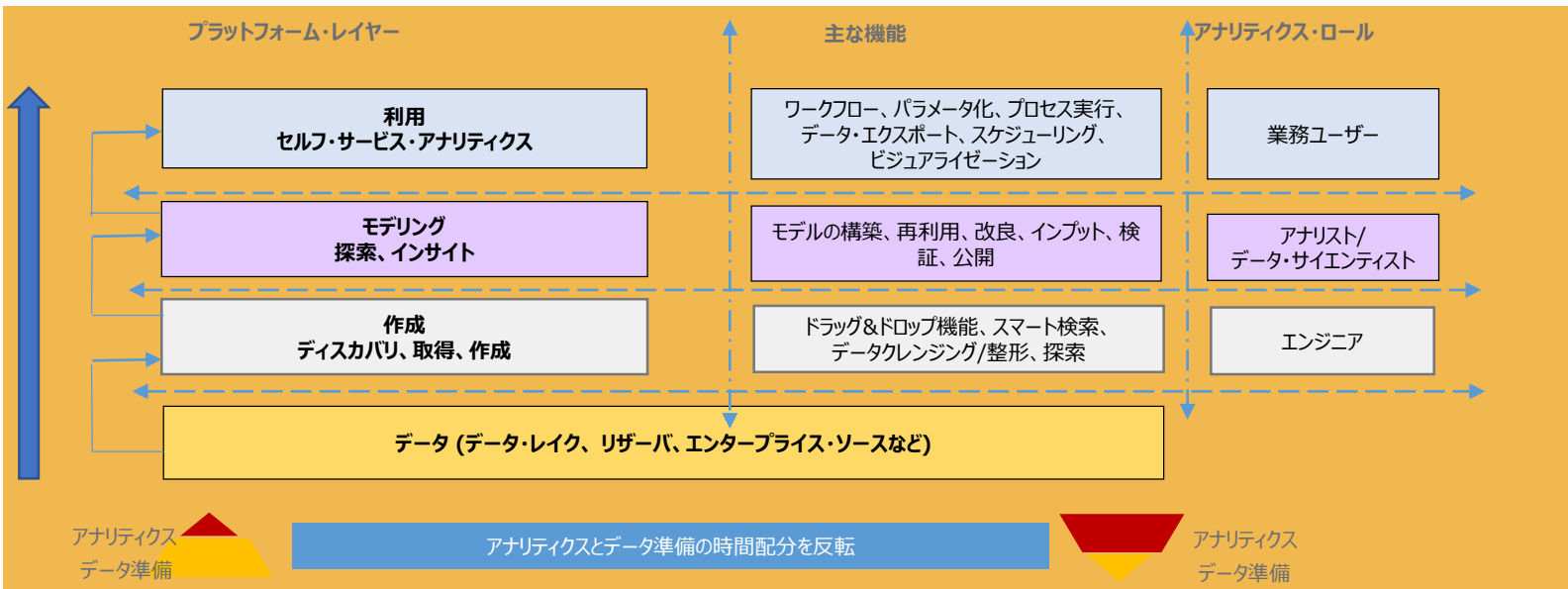


作成: データのブレンディング・マッシュ・マージのプリセット機能及びデータクレンジング/整形のための業務連携インタフェース



利用: 高度なビジュアライゼーション機能を持ったセルフ・サービス・ビジネス・アナリティクス

このプラットフォームは、根本的にはデータ・ディスカバリ、ラングリング、分析モデリング、モデル管理、可視化のためのクラス最高の機能を持つデータ・プラットフォームで構成され、データ・アナリストとサイエンティスト・コミュニティにエンド・ツー・エンドのセルフ・サービス機能を提供するデータ・プラットフォームを強化します。



インフォシス・アナリティクス・ワークベンチにより、企業は方程式を反転させ、データの取得と作成は20%のみ、純粋な分析モデリングとインサイトに80%を費やすことが可能となります。

メリット

 <p>ユーザビリティ: セルフ・サービス・データ・ディスカバリのためのスマート・データ・カタログ、データ作成のためのクラス最高のデータクレンジング/整形機能</p>	 <p>スキル: アナリティクス・マーケットプレイスによって、ビジネスユーザーは任意の分析モデルを活用可能</p>
 <p>アクセス: 構造化データ・半構造化データ・非構造化データの複数ソースに渡るデータクレンジング/整形機能を通して、境界のないデータ・ランドスケープでのデータ・サイエンティストの作業を実現</p>	 <p>パフォーマンス: ディスカバリからデータ民主化までのアナリティクス・ライフサイクル全体におけるエンド・ツー・エンドでの技術的統合により、分析業務にアジリティを実現</p>
 <p>テクノロジー: クラス最高のツールの統合によりアナリティクス・ライフサイクルのすべてのステージでセルフ・サービスを実現。プリセットされた統合機能により、アナリティクス・プラットフォームの立ち上げにかかる時間を短縮</p>	 <p>生産性: Hadoopの分散処理を活用した分析エンジンにより、モデル実行および分析処理の時間短縮、モデル精度の向上を実現</p>

スピードアップ	イノベーション	コストダウン	スケールアップ
市場投入までの時間を40%短縮	サンドボックス設定の時間を1/10へ短縮	構築済み統合により開発工数を30%以上削減	分析モデルの変数性(バリエーション)を20倍改善

事例

お客様の背景:
 お客様はビッグ・データに対する取り組みを開始した米国最大の銀行機関で、プラットフォームからのデータ消費に関する以下の課題への対応を検討していました。
 ・Hadoop の力を活用してインサイトを取得するまでの時間を数日から数時間に短縮
 ・分析モデルを実行し、キャンペーンの効果を高めるために完全なデータを使用することにより、より正確なインサイトを提供
 ・セルフ・サービス機能の有効化によりアナリティクスを民主化

弊社のソリューション:
 ・データ・レイク上でインフォシス・アナリティクス・ワークベンチのコンポーネントを使用して、基本的なデータ機能を提供
 ・レイク環境に取り込んだデータ・セット間の関係の特定、ドメインへのマッピングおよびセキュリティ分類のためのプロセスを構築
 ・タグの作成、修正および保守のための自己改善機械学習ベースの提案
 ・自動タグ・ディスカバリ、用語集リンクおよび自動タグ伝播
 ・データ探索用のビジュアル・インタフェース

メリット:
 ・アナリティクス・ライフサイクルのすべてのステージに対応した統合プラットフォームによりセルフ・サービス・アナリティクスを実現
 ・疎結合アーキテクチャーにより、既存のお客様の投資と統合して、ROIを最大化
 ・消費ビューを作成するための従来の ETL ベースのアプローチと比較して、市場化までの時間を短縮

インフォシスリミテッド 日本支店
 〒106-0032 東京都港区六本木1-6-3 <https://www.infosys.com/jp>
 詳細は、 mktg_jp@infosys.com までご連絡ください

